

環境機器メーカー「カネミヤ」

間瀬 隆夫社長(59)



食品包装材や農業用ビニールなど、汚れた廃ビニールや廃プラスチックを分別・洗浄する機械を製造、販売しています。焼却か埋め立て処分しか方法がなかった廃棄物を洗浄することで再原料化を実現しました。例えば、空き缶を集めるビニール袋や、食品が付着したプラスチック容器、泥がこびり付いた農業用ビニールなどは、従来の方法ですと、洗浄コストも掛かり、大半は産業廃棄物として処分されています。

廃プラ洗浄で再原料化

月曜・トップバッター

わが社の魅力

金会社として創業。最初の十年ほどは提案製造により、売り上げが伸びていき

ました。半導体不況により

その時に、当初からの

夢だった「マイブランド製

品の開発・販売」との思い

が再熱。廃ビニール・プラ

スチックの分別・洗浄機の

開発に着手しました。

この分野に進出している

メーカーは無かったため、

参考にする機械も無く、挑

戦と失敗の連続でした。洗

濯機のように、水の中で回

転させて洗浄する方法だ

と、一時間に二トもの洗浄

水が必要になります。

そこで発想を変え、高回

転の遠心力と摩擦力を利用

します。

また、牛乳パックなど紙パックに対応した洗浄機も製造しています。洗浄したビニール袋などを再生原料に回すことで、産業廃棄物の焼却量は減少し、一方、原油消費量の削減にもつながります。地球環境に貢献

する中で利益を追求してい

ければ、これほど良いこと

はありません。

この六月には中小企業庁

から「明日の日本を支える

元気なモノ作り中小企業三

百社 二〇〇七年度版」に

選ばれました。今後も、廃

ビニール・プラスチックの

分別・洗浄機のオンリーワ

ンの企業として、「利益が

出るリサイクル」を通じ、

地球環境に貢献できればと

思っています。

(村上一樹)

カネミヤ 1989年4

月設立。資本金2500万

円。従業員30人。環境機器



汚れたビニールやプラスチックを分別・洗浄する機械—半田市で

カネミヤ 1989年4月設立。資本金2500万円。従業員30人。環境機器の開発、設計、製造販売を手掛ける。半田市の本社・中部営業所のほか、神奈川県中井町と大阪府中央区、台湾の3カ所に営業所などを構える。社名は「がんばろう、ねばりつよく、みんな、やる」の頭文字から命名。(半田市八軒町)